

滋賀県レイカディア大学 同窓会

甲賀・湖南支部だより

第16号

滋賀県レイカディア大学
同窓会 甲賀・湖南支部
発行責任者 橋本 元夫
TEL 0748-88-3730

<主な内容>

巻頭言 シニアライフを楽しむ	森井 幸三(地文 31期).....P2
本部表彰受賞者の言葉	
前向きに日々を	安樂 忍(文芸 19期)P3
米寿をお祝いいただいて	徳地 幹夫(陶芸 14期).....P4
米寿の祝いに欲して	堀井 辰雄 (園芸 18期).....P4
活動記録	
送迎ボランティア	青木 茂(園芸 34期).....P5
地域会員の情報交換会	前田 松栄(スポ 30期).....P6
支部からのお知らせ	
ボランティア懇話会開催される	支部長 橋本 元夫(園芸 23期).....P7
ボランティアアンケート概要	健康福祉部長 奥本 静子 (生活 31期).....P8
7月～9月の動き.....P8
編集後記	広報文化部 小林 和雄(陶芸 22期).....P9



平成27年度 レイカディア大学 大学祭(玄関正面 園芸学科の展示)

巻頭言

シニアライフを楽しむ

水口地区代表理事 森井 幸三 (地文 31期)

現役の頃漠然と思い描いていた『老後の人生』と現在の『シニアライフ』と何が違うのだろうか。『老後の人生』は田畑の世話と地元用務・若干の趣味等の枯れた生活イメージでした。約40年間のサラリーマン生活を終え61才でレイ大31期地域文化学科に入学。先ず驚いたのはクラス仲間の皆さん方の積極的な行動・生き方でした。いくつかのボランティアをしながらお仲間作りと勉強に意欲的な人たちには大いに触発されました。ただ、退職後の暇つぶし程度の認識しかなく、ボランティア経験も無い自分にとっては別世界に来たような感じでした。過去の職歴や年齢に関係なくクラスメイトとしてのつき合いは本当に新鮮な感覚でした。また、合同講義でいろんな分野で活躍されている人々の話を聞く中で、好奇心をもち最初の半歩を踏み出すことの大切さを教えてもらったように思っています。ボランティアに関しても、『何かをしてあげる・・・』から『見返りを求めず共に楽しむ』の考え方に変わりました。最近、在校生の中で合同講義が無駄との声が多くなったと聞きます。自分の専攻した学科だけを充実させたいとの考えのようですが非常に残念な風潮です。他人の経験を自分のものとする事が出来る講義を大事にして欲しいものです。



民生児童委員を仰せつかり五年目を迎えました。五年間の中で消化器官関係の手術を2回余儀なくされながら区長や宮守を経験しました。また、忙しい中でも、田や畑の世話を追われながら好きなゴルフや囲碁を楽しんでいます。特に囲碁はレイ大同窓生で構成されている「星目会」に入れて頂き毎週水曜日草津まで出かけるのを楽しみにしています。また、この縁でゴルフ仲間の輪も広がりました。

最近、レイ大クラスメイトの方から詩吟を習い始めました。月2回二時間の練習ですが、腹の底から声を出す事で終わった後はすがすがしい気持ちになれます。

囲碁にゴルフに詩吟とレイカディアを通じた人の縁を大切にしながら楽しんでいきたいと思っています。そして、些細な事でも自分を必要としてくれる事ならば「背伸びせず、出来る範囲で」地域への恩返しとしての活動を続けていきたいと思っています。

なにかをしなければ出会うはずの無かった人々と出会い、それらの人の縁で活動範囲が広がり新鮮な刺激を受ける事が、より充実したシニアライフの根本ではないでしょうか。

校歌にある「共に学ばん」「共に遊ばん」「共に生きなん」を実践しながら「生き活きとしたシニアライフ」を送っていききたいものです。



本部表彰受賞者の言葉



前向きに日々を

安樂 忍(文芸 19期)

例年になく猛暑の日が続いておりましたが、お盆が過ぎ漸く窓から入る夕風に秋の気配を覚えます。

この度は米寿のお祝いを賜り誠にありがとうございます。齢と共に「体力」「気力」等「力」のつくものがすべて失せ何をすとも無く淡々とした日を送っておりましたが、この度お届け下さいました会報で同年の方々のお言葉やご活躍を拝見し自らを反省いたしております。

70年前、17年間私を育ててくれた地を追われる様にして帰国した私は幼稚園、小学校、女学校すべて無くなり、クラスメート、知人も全国に散らばり寂しい思いをしておりました。

しかし、レイカディア大学に学び唯一の母校が出来、クラスメートとお電話や賀状で御様子を伺い喜びと元気を頂いております。そして自分を見失わず残された日々を前向きに送って行きたいと思いました。

レイカディア大学の楽しかった2年間、また先生方やお友達のお顔を思い出し乍ら、御校の益々のご発展をお祈りしながら御礼を申し上げます。「どうもありがとうございました」かしこ

末筆に近頃の心境を詠みました

やり直しきかぬ人生と知りおれば これよりの日々清がしく生きむ

日を追われる如く過ぎし来ぬ 振り返り見るに何をなせしや

米寿をお祝いいただいて

徳地 幹夫(陶芸 14期)

昭和3(1928)年生まれの私は今年数えて88歳、去る5月26日、同窓会本部定期総会の会場で、赤いリボンをつけてもらい、会長様からお祝い頂きました。久しぶりに少し緊張、少し面映ゆいような幸せな気分を味わわせてもらいました。本当に有難うございました。

子供時代の日本は昭和6年の満州事変から昭和20年の終戦まで、まさに戦争の時代でした。終戦前後の生活は厳しく、衣も食も住も今と比べると本当に貧しいものでした。裸電球の下で芋粥を食べていたことを覚えています。

その後は新しい憲法のもとで、世界に例のない平和国家の道を歩んでいましたので、“今日よりは明日”、“今年よりは来年”と希望を持ちながら毎日の生活を送ってきました。よき時代に生きさせてもらったと思っています。

今、我が国では安全保障関連法案の審議を巡って、さまざまな論議が行われており、国家のあり方が変わろうとしています。私にも5歳と2歳の曾孫がいますので、この子達の未来が戦禍のない平和な日本、平和な世界であることを心から願っています。



米寿の祝いに浴して

堀井 辰雄 (園芸 18期)

平成27年度レイカディア大学同窓会の総会時に、米寿の祝辞と記念品を頂きました。

私は、18期の園芸で卒業後18年を数えます。十年一昔と言いますが、二昔前の古い一介の卒業生に、格別の御配慮を頂き厚く御礼申し上げます。

近頃各界各層から幅広く戦後70年について種々の声が聞かれますが、思い起こせば、私は終戦を元偽満州国で迎えました。学校令では、全寮制農学校の生徒であるにも拘らず、20世紀の悪魔と云い度いスターリンの気まぐれか？北安の捕虜収容所に収容されたのです。1日の給食は井一杯程度の粟粥と関東軍から接收した乾パン一袋で2ヶ月程拘束したあげく、西安炭鉱で採炭労働を命ぜられました。重労働ではなかったと記憶していますが、収容所の栄養失調と風土病で3割近い同期生が、望郷の念一入のまま不帰の人となりました。翌年9月、漸く帰国できた私は幸運であったと思います。



帰国後の人生は何事にも努力が足りず、順風満帆であったとはいえませんが、治安はよく平和で生活物資も豊かな母国で米寿を迎えられたのは幸せなことでしょう。

後期高齢者と言うより終期高齢者と言った方が適当な年齢で、智力戦力は元々なく人様のお役に立つ様な事は、何もできませんが、今暫く生き延びたいと存じておりますので迷惑をかけることもあるかもしれませんがよろしくお願ひ申し上げます。

【回想の一句】

帰り船 玄界灘の 十三夜

NHKの生涯学習俳句教室に入門しています。



活動記録

送迎のボランティア

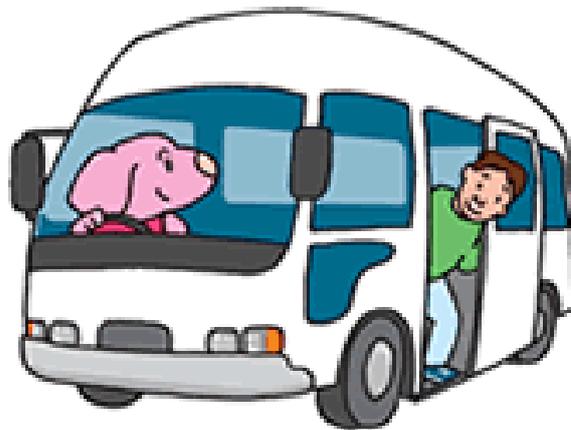
青木 茂 (園芸 34期)

私が、送迎のボランティアを始めたきっかけは、母が車椅子をつかって介護が必要になったからです。定年の年に、母はなくなったのですが、その年に「うぐいす」という送迎のNPOの立ち上げのための講習がありました。その時に運転の講習などを受けて今日まで続け6年になりました。利用対象の人は、湖南市在住で障害者手帳を持っているか、または介護要支援の方で会員登録をしてもらいます。

車は、車椅子使用の軽自動車2台で運営しています。会員の方が利用される日の1ヶ月前から予約されて8時30分から17時までが利用時間です。利用料金は、タクシーの半額程度です。安いと利用されている方から感謝されています。

最近の1日を書いてみるとKさんを水戸町より水口町の田代医院へ8時20分から送り、次に下田の方を労働衛生センターに10時から送り、Kさんを11時40分に迎えに行き自宅までおくり、片道4.4KMとなり往復1200円の代金をもらっています。労働衛生センターに送った方を迎えに行き800円を徴収しています。

このボランティアは、利用される皆様が感謝してくださるから続けられると思っています。これからも、運転できるあいだは続けたいと思います。



地域会員の情報交換会

前田 松栄(スポ 30期)

土山地区会員は、12期生～34期生迄12名。今年度より毎年1名づつ仲間が増える予定で楽しみにしているところです。土山は地形的に縦長でなかなか会員同士気軽に会える機会がないため、それぞれがレイカ大で学習した事を土台に地元で地域活性化のための活動を行っています。(活動の内容は第14号支部だよりP3:森本氏の記事参照)

以前より先輩方々により継続されている年1回の近況報告会として親睦会を行っています。今年度も7月29日(水)9名が集い、地域でのボランティア活動や趣味活動、スポーツでの活動等報告され、又、戦時中での体験談やレイカ大在学中での思い出話に花を咲かせるひと時もあり、いろいろ話題が豊富に出され、皆さんいかに前向きに日々送っておられるんだと感じました。

また同窓会本部、支部の動向等も話題にし、意見交換することも忘れず行うことも出来、限られた時間の中、様々な話題から多くの事を知り得ることが出来ました。チラッと「何かみんなで小さい事でも良いので全員で出来ることがあればなあ」と誰かのつぶやきが小耳に入ってきたことも事実ですが、この会を続けていけばまた良きアイデアも生まれてくると期待しているところです。



支部からのお知らせ

ボランティア懇話会開催される

支部長 橋本 元夫(園芸 23期)

去る6月30日と9月2日の2回、水口公民館でボランティアセンターの大平正道、出口敦子様を講師に招き実施されました。過日行われましたアンケート調査結果を踏まえ回答者の中から選ばれた20名程の方が参加し、支部として「どのように活動して行くべきか」についていろんな角度から議論して頂きました。

その要旨は概ね次の通りです。



- ・強制的にならないのか
- ・市などで行う大きなイベントに支部から参加を呼び掛けてはどうか
- ・卒業学科別にグループを作り検討してはどうか
- ・支部として会員を支援するため保険に加入してはどうか
- ・何のために支部活動に取り入れなければならないのか
- ・町単位で検討会を開催検討してはどうか
- ・支部全体で検討する方が広く意見が聞けて良いと思うが
- ・個人で実践しているから支部大で取り組む必要がないと思うが
- ・劇団を結成して オレオレ詐欺防止などのテーマをもって活動すればよい
- ・支部は個人の活動状況を広報紙や自治体、福祉等の広報紙等に情報発信せよ
- ・ボランティアの本質は社会にアピールすることではなく多くの人に喜んでもらう事だ。本質を忘れないようにすること

以上のように色んな意見や議論がありましたが、講師の大平様のご指導は

○支部として出来る事は **会員の希望しているボランティア活動を、要請されている自治体や福祉団体、事業体等に紹介する等、橋渡し(つなぎ)をする程度が、妥当**と思います。そのためには、正確な個人の情報を把握することが先決です。把握したらそれをグループ化しリーダーを決め、ボランティアセンターや自治体、福祉団体等に登録しておき、要請があれば参加する。又は自分達でチラシを見て情報を把握したり、自ら広報活動を行い、要請があれば参加する等です。

執行部としては 上記の指導を受け参加される方の確かな情報を把握するため、2回目の記述アンケート

トを実施したいと思っています。その結果を受けて、進め方等を健康福祉部で検討立案し、理事会の承認を得て実施の運びとなります。皆様のご協力をお願い申し上げます。

ボランティア アンケートの概要

健康福祉部長 奥本 静子 (生活 31期)

アンケートの御回答ありがとうございました。詳細は全会員様に配布したところです。

- ▶ 回答いただいたのは106名でした。
- ▶ ボランティアの経験ありの方101人で95%にも及びました。
- ▶ 活動暦では、10年以上16名(16%)、5年以上37名(38%)、3年以上26名(27%)で多くの方が3年以上活動されています。
- ▶ どのようなボランティアをされているかの質問では、多岐にわたりましたが、多い順に、美化運動・自治会活動・地域活動の手伝い・老人クラブの指導・交通、防災、防犯関係が上位ランクですが、朗読・動物保護・車いすダンス等もありました。
- ▶ よかったことは、・喜んでもらった・楽しかった・仲間ができた・視野が広がった・レイ大で学んだことが生かせ、やりがいを感じた等それぞれ表現は違いますが、喜んでもらって、ともに楽しくやれたことだと思います。

▶ アンケートの結果は以上ですが、今後支部としてどのような取組みをするかは支部長の「ボランティア懇話会開催される」を御拝読ください。

7月～9月の動き

- ▶ 本部主催の地域活動発表会が11月18日(水)に、近江八幡ひまわり館で開催されます。当支部代表で橋本 黄市氏(スポ 22期)に出演いただきます。橋本さんは、水口細工の復興活動で、蔦細工工芸品の製作技法を研究され、郷土の伝統工芸品の復活活動をされています。
- ▶ ホームページ担当理事の中嶋氏が3回の研修を終えられました。準備出来次第支部ホームページに掲載いただくこととなります。
- ▶ ボランティア懇話会を6月30日と9月2日開催されました。(詳細は「ボランティア懇話会開催される」参照)
- ▶ ボランティアのアンケート結果がまとめ、8月7日に配布されました。
- ▶ 当同窓会名で、甲賀市社会福祉協議会に、ボランティア団体として登録しました。
- ▶ レイカディア大学で、今年度の学園祭が8月26日～28日に開催されました。
- ▶ 本部主催のグラウンドゴルフ大会が9月17日、ドラゴンハットで開催されます。
- ▶ 支部主催の「趣味の作品展」が10月7～8日、水口公民館で、「新人歓迎会」が10月8日、水口公民館で、「研修旅行」は11月26日、トヨタ会館・三谷温泉の計画です。

編集後記

この夏の猛暑は本当に厳しかったです。会員の皆様は元気でご活躍のことお喜び申し上げます。

さらに暑くしているのが、戦後70年の安倍談話と安保法案国会の議論、加えて東京オリンピックの国立競技場とエンブレム問題、東京調布で飛行機墜落、等いろいろな出来事の多い四半期でした。

もう一こと、先輩が「楽しく生きるには、2つの趣味を持って、1つは、自分1人でできるもの、2つ目は、2人以上で出来るものを作るように努力せよ」と言われました。野洲川の清流で鮎を釣る人、そばの運動公園でグラウンドゴルフに興じる人達、言われた意味が理解できました。

さて、広報「甲賀・湖南支部だより」の発行に際しまして、支部長をはじめ、関係各位による寄稿を賜り、また支部当局のご指導、ご協力を頂き、ここに第16号が発行できますことに感謝いたしますと共に編集部一同安堵しているところでございます。

御寄稿いただいた方々には、快くご協力賜り、厚く御礼申し上げます。

広報からのお願いです。ボランティアアンケートではほとんどの会員の皆様が地域活動等いわゆるボランティア活動をされていることがわかりました。会員の皆様の活動状況を投稿していただくようお願い申し上げます。

広報文化部 小林 和雄 (陶芸 22期)

